

物価高騰・ナフサ不足に蕨市独自の対策を

議員 中東情勢による物価高騰とナフサ関連製品等資材不足の影響は深刻であり個別の努力は限界。国による暮らしと営業を守る対応、紛争終結と中東地域の安定に向けたアメリカへの働きかけが必要と考える。また、本市でも事態の把握と対策に全庁的に対応してほしい。本市の対応について市長の見解はどのようなか。

頼高市長 市民生活や事業所は大変厳しい。まずは「織りなすクーポン」を着実に実施するとともに、全庁的に状況を把握し、必要なことは対処する。商工会議所とも連携し、各事業所に寄り添った対応に努める。国に対しては全国市長会議でも原油価格高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する決議を上げる等、危機感を持って対応している。紛争が国連憲章に基づく外交努力により一日も早く完全に終結し改善が図られるよう日本政府も含めて関係機関が引き続き外交努力を強めていただきたい。そのことを求める発信については平和首長会議や全国市長会とも連携して努力したい。

西口駅前広場は市民が使いやすい駐輪場やトイレの整備を

頼高市長 蕨の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある駅前空間を創出することを基本として「安全性の向上」、「利便性の向上」、「快適性の向上」の3つの整備方針を掲げた。この事業を通して魅力的なまちへと発展させていく。公共公益施設の1階に共用のトイレが設置される予定。図書館を利用する子どもたちや学習スペースを利用する方の利用時には90分無料を拡大できるように協議していきたい。

議員 具体的な工事時期や近隣・駅利用者への影響はどうか。

都市整備部長 夏頃に工事契約を締結した後、準備期間を経て着手する予定。7番街区に続く区画街路の拡幅整備は令和9年夏頃までの施工が予定され、駅前広場本体は、その後、定まっていく。駅前広場や周辺道路を供用しながら工事を進めるため、一時的な通行経路の変更や迂回などが必要となる。



市議会議員 武下 涼

- 1990年生まれ
- 現在、市議2期
- 教育まちづくり常任委員会委員



市議会議員 やまわき 紀子

- わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議7期
- 環境福祉経済常任委員会副委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長



市議会議員 鈴木 智

- 岩手県出身 (株)第一経営相談所勤務 行政書士
- 現在、市議6期
- 党市議団長、総務常任委員会委員



以下の内容も質問しました

- ◆新図書館の整備について
- ◆子育て支援策の拡充を
- ◆自転車も歩行者も安心なまちづくりを
- ◆織りなすクーポン事業について
- ◆JR・マンマン運転化の問題と対応

市立病院の移転・建替え さらに市民の要望に応えた病院へ

◆市立病院の移転・建替え事業では、3月議会での議論を受け、昨年の検討した基本設計の検証作業がすすめられました。主な変更などは以下の通りです。

●医療需要の変化や建築費の高騰等に対応する見直しでは、透析や手術室の見直し、病床数108床への減少(47%の51床は個室)などにより概算工事費2億700万円減となる計画です。

●1階の感染症外来の位置を変更しスタッフ動線と医療効率を改善。2階では健診センター付近の検診と外来、

検査の動線・待合を分離するなどプライバシーや使い勝手に配慮した設計になります。

◆危機打開プランに基づく病院経営の改革も前進しています。救急搬送の受け入れ増などで病床利用率が大幅に増加。引き続き外来医療を含めた目標達成を目指す方針です。日本共産党市議団は、市民の医療ニーズに応えた取り組みで持続可能な経営改善を図る対応を求めてきました。

